

## 特集：“商用車こそハイブリッド”はなぜなのか？



### 1 前年度ハイライト「日野自動車の環境技術」の振り返り

1991年より世界で初めてハイブリッドシステムを搭載したバスを生産・販売して以来、日野自動車はハイブリッドシステムのパイオニアとして常に業界をリードしてきました。

前年度CSRレポートではそのハイブリッドシステムの特長を中心に、いかに最新技術ノウハウを確立してきたか変遷も含めて特集記事にまとめました。今後も引き続き技術開発を重ねていき、業界全体の環境技術をリードしていきます。

#### 新型ハイブリッドシステムの特長

- 1 エンジン・モーター間にクラッチを設置。EV走行を可能とし、回生効率も大幅向上
- 2 走行パターンを学習してアシスト量を最適化する新たなシステム制御を開発
- 3 主要コンポーネントを軽量・コンパクト化
- 4 専用エンジン、専用トランスミッションを開発

※ ハイブリッドの効果が大きい、平均車速が低く発進停止頻度の高い都市内走行において、相当するディーゼル車に対して燃費を50%向上させることを目指して開発。

☒ 2011環境ハイライト [日野自動車の環境技術]

### 2 ハイブリッド商用車の環境面・経済面の優位性 (白井社長対談記事)



日本経済新聞朝刊  
2012年1月19日付掲  
載

商用車トップメーカーの日野自動車がハイブリッド商用車を通じて、お客様のために何ができるでしょう。

「世界中の国や地域それぞれの市場にもっともふさわしく環境性能も高いトラックやバスを提供し、より多くの方々に喜んでいただくことが日野の使命」と考える白井社長。エネルギーや環境問題に関心の高い、キャスターで千葉大学教育学部特命教授の木場弘子氏との対談が実現しました。

お客様にご協力いただいて実施したモニター走行による燃費実測データを掲載し、ハイブリッドシステム商用車を積極導入することで環境イメージアップにつながるだけでなく、経営改善の切り札にもなり得ることに言及しております。

### 3 お客様の声

2011年7月の発売以来、新ハイブリッドシステムによる燃費のよさで好評の日野デュトロハイブリッド。高効率のハイブリッドシステムにより重量車モード燃費値※12.2km/リットルの燃費を実現しました。

この日野デュトロハイブリッドユーザーであるお客様の生の声を聞きました。今後もより多くのお客様に喜んでいただくため、開発・設計・製造の各段階に反映させていきたいと考えております。

※重量車モード燃費値：法令に基づく標準的な諸元値および条件をもちいてエンジン燃費を実測し、シミュレーション法で算出した国土交通省審査値



#### お客様の声

運転・操作性がよく、  
乗用車感覚で乗れる

変速ショックが少なく、  
荷物が満載していても  
安心できる

走りが静かで  
早朝の運転でも安心  
できる

長く乗るほどにわかる  
低燃費性

ハイブリッド車は  
低燃費なので  
PRにもつながる

